

2006年9月15日

ユニセフ\*コープ ネットワーク

# ぽむ・ぽむ通信

No. **33**

## ユニセフリーダー研修・交流会を開催しました。

8月26日から9月1日にかけて、東西2会場に分かれて、ユニセフリーダー研修・交流会を開催しました。その中の企画として、「ユニセフすごろく」が楽しく取り組まれましたので、東日本会場の様子をご紹介します。

### ユニセフすごろくに挑戦！

『楽しみながらユニセフ学習！』そんな思いを込めて作られた《ユニセフすごろく》をみんなで行いました。7グループに分かれていたので、それぞれ代表者が出てさいころをふり代表者自身がコマになって進みました。トップバッターであるAグループの出た目は5、「いーち、にー、さーん、しー、ごー」とまわりのみんなが声を出し、コマになった代表者は1歩ずつすすみます。5の目には『病気になってしまいました。予防接種を受けていない人は3つ戻る。』と書いてあり、5まですすみましたが、「いーち、にー、さーん」と3つもどり結局2のところにとまりました。Bグループ・Cグループ・Dグループと、それぞれみんなで声を出し合いながらコマを進めました。出る目によって出た目より余分に進むこともあり、一喜一憂しながらのすごろくゲームでした。



水運び体験をするコマもあり、実際にネパールの水がめを運びました。参加者でネパールの方がいらっしゃったので、ネパールの水くみの大変さや、男性と女性ではかめの持ち方が違うことなども実体験を通したお話が聞けたことも良かったです。コマにはユニセフについて知るさまざまな体験や説明が含まれていて、各コマに解説カードもあるため、詳しく学びたい場合は解説カードをよみながらゲームができます。小さいお子さんなどが多い場合は詳しい解説はとばして水がめ運びや身長を計ったりスタンプを押してもらったりしながら体験を中心に自然にユニセフを知ることができるツールだと思います。

いろいろなイベントで気軽に参加してもらいたいのですし、学習会のワークショップとして扱うのもとっても楽しいと思いました。 (日本ユニセフ協会千葉県支部・福本朋子)

\*リーダー研修・交流会で紹介された生協からの活動報告、いわて生協から参加された松原アンジュさんによるネパール紹介が次項に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

## 松原アンジュさんのネパール報告



ネパールは、昔の日本といった方がいいと思います。ネパールでは女性は8歳のころから、家事・子守り・水汲みなどをしています。15歳までには一人前の女性になります。男性は小さいときからわがままに育てられ、ちゃんと学校にも行かせてもらえます。女性はそういうことができないことが多いです。大体の女性は、15歳から20歳までの間で結婚しています。**ネパールでは女性の立場は低いものとみなされています。**お嫁に行っても、男の子を産まなければ、お嫁の役割を果たしていないということになります。ネパールでは男性は何人妻を持ってもいいのですが、女性はそういうことができません。離婚は法律的には可能ですが、でも実際には離婚はほとんどありません。1人の男性に4、5人奥さんがいるというケースもあります。だんなが酒を飲んでも、暴力をふるっても、何をしても女性はそういうところで我慢して、やはり自分の人生、死ぬまでは、このだんなについていくのだという風に生きています。そういうところで、ネパールの女性は育っています。やはり、今日本の女性は自由で、教育とか学校にも行けていて、ネパールのことを話していると、日本の女性はうらやましいなと思います。そういう人生は私には一度もなかったなあと、思っています。

**ユニセフの支援は、ネパールにも届いています。**その支援がどれほど役に立っているかということは、みなさんご存知ないかもしれませんが、1円でも、鉛筆1本でも、ノート1冊でもネパールではすごく役立っています。ほんとにありがたいと思っています。

### 生協の活動報告から(東日本)

#### ちばコープ

- ・2006年4月には店舗で「**ユニセフ花募金**」をしました。千葉の富里の花を農家の方の協力で安く仕入れて店舗で売りました。40円がユニセフに募金になりました。
- ・職員の福利厚生の一つにファミリークラブポイントがあり、たまった**ポイントでユニセフ製品も購入**できます。去年10月に出たユニセフランドローバー(ミニチュアカー)は大人気で完売となりました。

#### コープぐんま

- ・子ども向けのマネー学習講座の中でユニセフのお話をしました。子ども達をひきつけるために**フリップボードを活用**し、100円玉の絵をみせながら100円でできることの話などをし、好評でした。
- ・お年玉募金の際に組合員からいただいたメッセージを**総代会で展示**しました。
- ・書き損じ**ハガキ**を回収し、郵便局でお金に変えて募金しています。予想以上に集まりました。

#### コープえひめ

- ・店では創業際、支所では支所祭などでもユニセフのコーナーを設けました。**スーパーボールくじ**は子ども達に大人気。協力してくれた子どもには「サンキューセット」としてチラシ等のセットを渡しました。
- ・約40名のボランティアで構成する**サポーターの会**があり、月1回会合を持っています。一人が何か1つワークシヨップができるよう学習しています。

#### いばらきコープ

- ・ユニセフグループHOT HEARTは設立10年目。3年前から**学習会**を夏に始めました。手作り紙芝居は毎年新しいものを作成しています。ビデオ上映やクイズの他、水がめ運びや食料分配ゲームなど、「体験」できるコーナーを設けています。

### 生協の活動報告から(西日本)

#### おかやまコープ

- ・家にある空き缶にはると募金箱になる**シール**を配り(理事の手作り)、ハンド・イン・ハンドの日に持ってくるようお願いしました。
- ・**ラブウォーク** in おかやまを実施。164名が参加し、200円の参加費全額が募金となりました。ユニセフクイズに挑戦したり、歌を歌いながら歩き、楽しく募金活動しました。
- ・2005年11月～12月には、対象商品を購入すると**商品代金の一部が募金**となるキャンペーンを実施しました。ポイントも通常の5倍つき、利用者にとってはポイントもたまり、自動的に募金できる良い仕組みでした。



#### めいきん生協

- ・ユニセフ活動広げよう会が13名で活動しています。毎年3月に開催している**地球まるごと幸せのつどい**では、講演のほか、アジアの料理を出しています。今年はすぐろくも実施しました。
- ・試食会や平和のつどいでは、机1本分のスペースをもらい、ユニセフグッズを頒布したり、お菓子やコーヒーの**販売収益を募金**したりしています。

#### 京都生協

- ・ユニセフサポーターが中心となり学習活動を進めています。世界地図を使って色塗りしたり、「バナナはどこから来るの?」という質問から**世界と日本のつながり**を感じることからすすめています。
- ・組合員さんに広げるために、行政区が発行する毎月のニュースの中でユニセフだよりを載せています。また、**職員向けのミニ学習会**も計画中です。



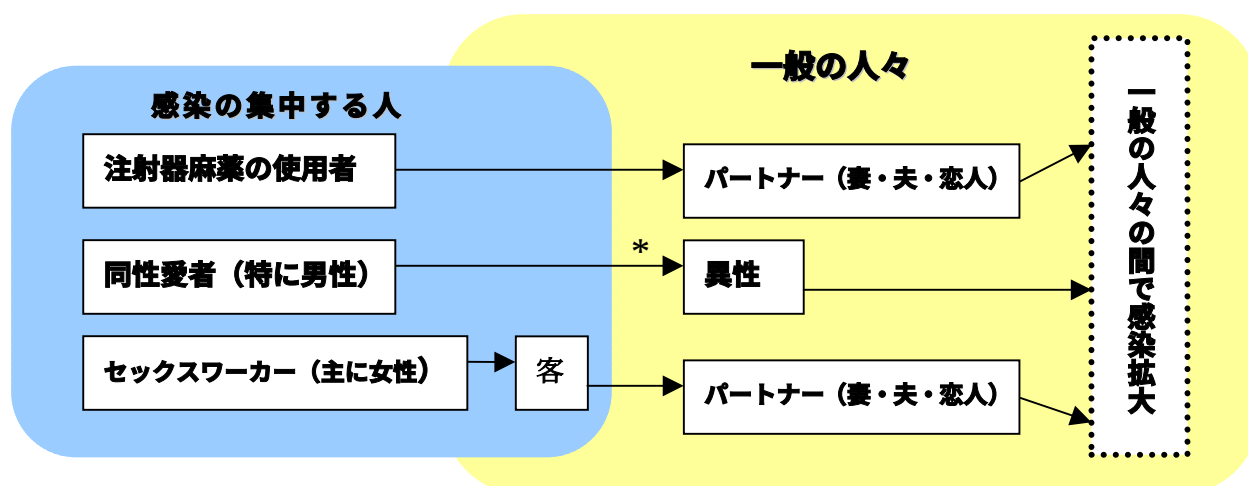
## HIV/エイズについて

連載第3回

### あなたはどのくらい知っていますか？

世界でのHIV/エイズ流行の様子とその影響についてご紹介した2回目について、連載3回目は、先進国やHIV感染率の比較的低い開発途上国でも、HIVの感染が一般の人々へ拡大しつつあるということ、日本の現状についてご紹介したいと思います。(日本ユニセフ協会インターン 福田、レイアウト：尾澤結花)

#### HIV感染が一般の人々に拡大していく仕組み



\*アメリカでは、同性間で性交渉をもったことのある男性の65%が女性ともセックスの経験がある、と報告されています。(UNAIDS 報告書 2006)

多くの先進国・感染率の比較的低い開発途上国では、HIV感染は注射器麻薬の使用者、同性愛者、セックスワーカーなどに集中する傾向があります。例えば、中国ではHIVに感染している人の約44%が麻薬使用者だと推計されています。(UNAIDS レポート 2006)しかし、最近上の図のような経路で、HIV感染が一般の人々にも拡大しています。感染の拡大に拍車をかけているのは、HIV/エイズに関しての知識を持っていないことや、コンドームを使わない危険な性行動です。また、麻薬使用者や同性愛者、商業的セックスを買う客は男性が多く、彼らのパートナーである女性は、特にHIV感染のリスクが高くなります。

#### 感染拡大を防ぐための対策

ここではHIV感染の拡大を防ぐために、これらの国々で取られている対策事例の一部をご紹介します。

##### ①危険削減プログラム (HRP)

(Harm reduction program) ~ロシア

注射器麻薬の使用者の間では、殺菌されていない不潔な注射器を使いまわすことが原因で、HIV感染が拡大する傾向があります。HRPは、殺菌された注射器具と引き換えに、使用済みの注射器具を回収することで、麻薬使用者間の使いまわしを減らそうという試みです。交換所は、HIVや感染症に関する知識を得たり、薬物使用自体の治療を受けるきっかけを与えるものとして機能しています。(WHO ホームページより)

##### ②自発的な検査とカウンセリング (VCT) プログラム

(Voluntary HIV Counseling and Testing) ~カンボジア

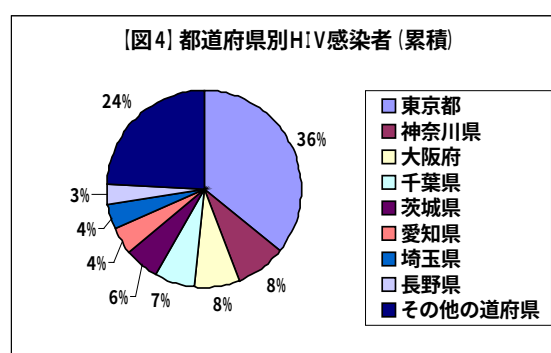
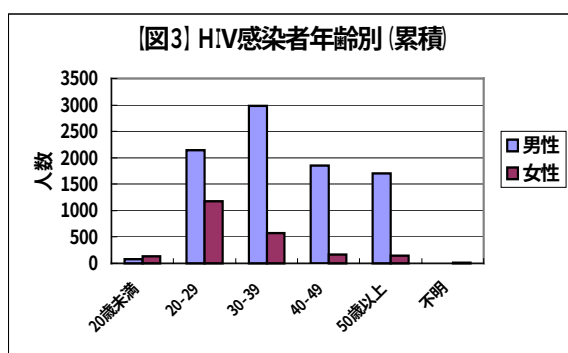
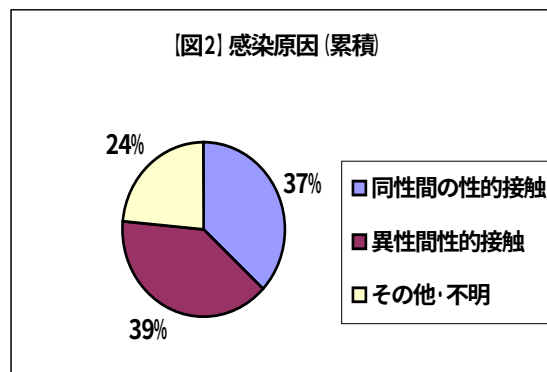
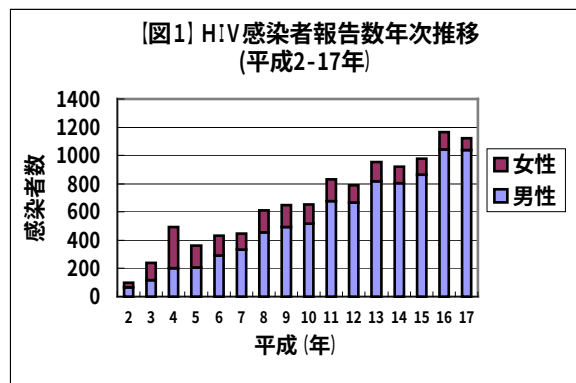
UNAIDS とユニセフの支援で、保健センターにてHIV/エイズについての情報を発信したり、感染者へのカウンセリング、HIV検査を自発的に実施しています。また、治療の必要なHIV感染者を適切な医療機関に紹介したりしています。カンボジアでは、コンドーム使用の普及と買春の減少もあいまって、1999年に4%を超えていたHIV感染率が、2005年は1.6%まで低下

薬物使用者や同性愛者へのHIV予防・治療対策は、一般の人々に感染の拡大を防ぐ意味でも必要なものにもかかわらず、偏見や差別、そしてこれらの人々の社会での立場が弱いために、対策が進まないという問題があります。彼らの予防・治療などの各種サービスへのアクセスの改善が必要です。

## 日本でも静かに拡大するHIV感染

ここでは、日本でのHIV/エイズの状況と感染拡大を防ぐためにとられている対策をご紹介しますと思います。

(下記のグラフは千葉県健康福祉部疾病対策課が平成18年3月に発行した『STOP AIDS no.60』記載のデータをもとにして作成)



### 【日本でのHIV感染の傾向】

日本で平成17年に報告されたHIV感染者は、1,124人(男性-1,036人/女性-88人)となっており、平成17年までの累積HIV感染者報告数は10,961人になっています。図1からもわかるように、日本のHIV感染者は報告されているだけでも、年々増加しており、特に、男性に感染が集中していることがわかります。感染経路としては、性的接触からの感染がほとんどで、特に同性間の性的接触からの感染者は男性が大半を占めます。また、年齢別にみると、女性のHIV感染者のうち半数以上が20代であり、男性も20代・30代の感染者が全体の6割を占める(図3)ことから、日本でHIVの感染が、「若い世代」に集中していることがわかります。若い世代の間にコンドームを使わない軽率な性行動がみられることから、若い世代への感染者の集中は、**今後の感染拡大**につながる可能性があります。また、地域別でみると、東京都への感染者の集中がみられ、ついで、神奈川県、大阪府などの**首都圏や地方の大都市を中心に感染が拡大**している傾向があります。

### 【感染拡大を防ぐために】

- 検査体制の多様化：
 

2006年6月1日～7日の『HIV検査普及週間』に合わせて、通常のHIV検査(結果がでるまで1週間～10日かかる)や即日検査(結果が陰性の場合にのみその日のうちにわかる)に加えて、昼間働いている人のために、**夜間検査**や**休日検査**などを実施した自治体もありました。
- エイズ予防についての啓発活動の推進：
 

HIV感染者が集中する東京都は、『平成18年度 エイズ対策事業実施計画』の中で、学校教育の場における、エイズ教育の実施や、パンフレットの配布、及び産婦人科医の都立高校への派遣などの啓発活動を行うとしています。また、新成人や外国人、同性愛者、繁華街に通う人々への啓発に関しても、配布物やセミナーの実施を通して取り組んでいこうとしています。(東京都『平成18年度 エイズ対策事業実施計画』より)

「子どもとエイズ」世界キャンペーンの詳しい内容については日本ユニセフ協会ホームページをご覧ください。  
<http://www.unicef.or.jp/campaign/051025/index.html>

# この国 どんな国 フィリピン共和国の巻

7000 以上の島から成る群島国家



面積は日本の約 8 割

人口 8,300 万人

(2004 年世界銀行データ)

民族構成は

マレー系 95% 中国系 1.5% その他 3%

マレー系民族グループは 100 以上を数える。

1571 年より 300 年あまりのスペイン統治は

この国にキリスト教の花を開かせ食文化や言葉

生活様式にいたるまで、幅広い影響を与えた。

1898 年よりアメリカ統治。1942 年日本軍政開始

1946 年フィリピン共和国独立。

アジアで随一のキリスト教国

カトリック 83% その他のキリスト教 10%

イスラム教 5%

英語を話す人が多い

公用語はタガログ語(マニラ周辺の言語)を基礎としたフィリピン語と英語。

その英語力は、海外出稼ぎ者 (OFW) Overseas Filipino Worker が多い一因となる。(山本直子)

出生登録

マニラ郊外の移動型出生登録所で出生登録をする母親

出生登録がないと、名前、年齢、親や民族がわかりません。子どもが大きくなったとき、教育や保健などの社会サービスが受けられない危険性がでてきます。又、人身売買の危険にも晒されやすくなります。しかし、フィリピンではまだ 230 万人の子どもが出生登録がなく、全ての子どもが出生登録できるよう、ユニセフは支援しています



## ハロハロ フィリピン版 かき氷

ハロハロとは「何でもかんでもまぜこぜ」の意味

基本の材料はあずき&ナタデココを含む数種類のゼリー。それに かき氷をのせて練乳をかける。バナナ、パパイヤなどのフルーツ、ウベという芋のアイスクリームをのせたりする。このアイスクリームは紫色。まろやかな甘みでおいしい。食べるときは全体をスプーンでよく混ぜる。某コンビニでおなじみのハロハロ 本場はフィリピン!!

## ユニセフの支援で育ち、 歌で世界の子どもの力になる 矢幅ニンファさん

私が子どものころ、ほとんどのフィリピン人は貧しい生活をしていて、病気になっても薬を買うお金もないくらいでした。そんな中、私は、ユニセフから贈られた栄養補給のためのビタミン剤や脱脂粉乳のミルクなどを飲んで育ちました。「神に感謝しなさい、ユニセフがいることを」という母の言葉とともに、いつもユニセフを身近に感じていました。小学校に入学すると、鉛筆やノートなどの文房具に「ユニセフ」という文字を目にするようになり、高学年の時、先生からユニセフが国際組織であることを教えてもらいました。

大学卒業後は、ピアニストをしながら、音楽宣教師として山間部や海沿いの小さな村を訪ねて回りました。村の人達は貧困に苦しみ、子ども達は食料や

ユニセフ リーダー交流会でステキな歌声を披露してくれたニンファさん

ビタミンの不足から栄養不良状態。裸足で歩き、服を着ていない子もいました。私は、塩、あめ、缶詰などの貴重な配給物資を分け合い、心をいやすためにみんなと一緒に歌いました。

音楽家として来日し、5年になります。夫と出会い、子どもをもうけ、今は盛岡で子育て中です。生協のユニセフ活動に参加するようになり、チャリティーコンサートで教え子と一緒にゴスペルを歌うなどの活動をしています。歌うたびにフィリピンの貧しい村を思い出し、その子ども達を支援するために歌っていると感じて力がわいてきます。(尾澤結花)





# 世界の子ども達は今

<フィリピン>

(文) 松本真弓

(絵) 蛭沢素子



移動式ディケア  
センターも！



<ディケアセンター>

マニラの貧しい地域では、  
幼児の遊びと遊ぶ場所を支  
援しています。  
ボランティアの先生は、お  
母さん。

## ユニセフリーダー研修・交流会について、ご紹介します

この企画は、全国の生協でユニセフ活動に取り組んでいる組合員・役職員を対象に、ユニセフ活動への理解を深め、各地の取り組みの交流を通して、地域でのユニセフ活動の推進リーダーを育て、各生協での募金や学習活動などをさらに発展させていくことを目的として開催しています。例年、8月下旬に開催しています。来年は、参加を検討してみませんか！

## ユニセフ ハンド・イン・ハンドを企画してみませんか！

ハンド・イン・ハンドは、「手に手をとって」世界の子どもたちの幸せと明るい未来を実現するために、市民一人一人がボランティアとして参加するユニセフ募金活動です。毎年多くのボランティアが、学校や職場そして街頭でこのハンド・イン・ハンドに参加しています。日本ユニセフ協会では、毎年12月23日を全国一斉活動日として、みなさんの参加を呼びかけています。また、12月をハンド・イン・ハンド月間としていますので、都合のよい日を選んで、ぜひ取り組みをお願いします。

### ＜実施までの流れ＞

9月には、いっしょに参加できるメンバーを集めて実行委員会を結成しましょう。そして、いつ、どこで、だれと、どんなふう to 実施するか具体的な計画について話し合いましょう。10月以降、日本ユニセフ協会のホームページに申込の手続きが案内されますので、参加の申込をしてください。折り返し日本ユニセフ協会より「活動の手引き」、ポスター、チラシ、専用振込用紙などの募金活動資材が送られてきます。手引きをよく読んで、準備を進めましょう。

☆ぽむぽむ通信の通算33号をお届けします。全国のユニセフ協力活動の交流誌としての役割はもちろん、世界の国々や子どもたちの様子も積極的に紹介していきます。また、各地の活動の参考になるような取り組みのご案内も行っています。

☆全国の活動事例や、ぽむぽむ通信の感想・ご意見をぜひお寄せください。

☆次号は、12月15日発行です。

お楽しみに！

## ぽむぽむ広場

ユニセフ＊コープネットワーク  
ぽむ・ぽむ通信

No.33 2006年9月15日発行

編集 グループ ぽむ・ぽむ

スタッフ・編集／尾澤・谷杉・浜崎・福本・藤森・  
松本・山本・林田・北村

イラスト／蛭沢

発行 日本生協連 組合員活動部

〒150-8913

東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ11F

TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125

ホームページ <http://www.jccu.coop/>